

第 14 回 西宮浜小中一貫校庁内開校準備委員会にかかる議事録

日 時：令和元年 11 月 19 日（火） 10 時 30 分 ～ 11 時 30 分

場 所：東館 8 階 教育委員会分室

出席者：大和次長（委員長）、津田部長（副委員長）、佐々木部長（副委員長）

清水校長（西宮浜小学校）、金地校長（西宮浜中学校）

野田参事（社会教育部）、中西館長（北口図書館）、北館長（中央図書館）、

吉田課長（教育企画課）、山下課長（学校管理課）、柏木課長（学校施設計画課）、

竹村課長（学事課）、中前課長（学校保健安全課）、因幡課長（学校給食課）、

原田課長（特別支援教育課）、中島課長（社会教育課）、山本課長（教育支援課）、

中尾課長（放課後事業課）、

宮後課長（育成センター推進課）、牧山課長（青少年育成課）

事務局：奥谷課長（学校改革推進課）、河内課長（学校改革調整課）、西川指導主事（学校改革推進課）

宮崎嘱託職員（学校教育課）、岡本嘱託職員（学校教育課）、足立嘱託職員（学校改革調整課）

司 会：津田副委員長

委員長	1. 開会のあいさつ
事務局	配付資料の確認 ・第 14 回西宮浜中一貫校庁内開校準備委員会 次第
	2. 協議事項
学保安課	(1) 各課より報告 ・これまで学校医は小中それぞれに配置されていたが、義務教育学校開校後は東校舎、西校舎それぞれに配置してほしいと校長から要望があった。さらに 1 名の校医が両方の校舎を担当する形も希望することだった。来年度は校医が変わる年度なので、こうした要望を医師会、歯科医師会、薬剤師会に伝えている。
特支課	・11 月 28 日（木）に特別支援学級の保護者と懇談会予定。
	3. 報告依頼事項
小校長 中校長	(1) 学校より 学校の進捗状況や検討課題について説明・報告する。 <主な説明事項> ・校歌の進捗について。作詞作曲を専門家に依頼し、音楽会等も見学してもらい子供たちの実態を見てもらいながら進めてもらっている。12 月中には案が出される見込みである。 ・校章の変更に伴い体操服のデザインや制服のボタンの変更など細かいこともたくさん出てきており、業者とのやり取りが増えてきている。保護者負担が大きくならないように交渉を続けている。 ・学校の横断幕や玄関への校章設置など新たに作成したいものも出てきている。学改調課とも相談しながら進めたい。 ・音楽会が終了した。子供たちも最後の音楽会ということ意識していたようだ。 ・令和 2 年開校予定の姫路の豊富義務教育学校へ両校長で視察に行く予定。 ・3 学期にはスカイプを用いて台湾の小学校と交流する予定。そのための環境整備を中学校も含めて教育研修課にお願いをしている。台湾の 6 年生が日本に修学旅行に

	<p>来るとのことなので、それに合わせて本校の5年生と2月25日(火)に交流する予定。今後、一貫校同士のつながりを持てるようになればと考えている。</p>
学改推課	<p>(2) 義務教育学校応募状況について <主な説明事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月19日(火) 現在までの申込数の報告。 ・説明会以降の新たな情報として、自家用車での送迎も一部可能という事を伝えるとともに、申し込みについての意向を確認している。 ・特別支援学級を視野に入れた応募もあり、特別支援教育課を交えて面談を行う。
事務局	<p>(3) 前回の庁内開校準備委員会以降の動き <主な説明内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月7日(木) 他市議員の視察があり、義務教育学校開校の準備について説明を行った。
事務局	<p>(4) 今後の主な流れ <主な説明内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月27日(水) 児童生徒募集締め切り日。 ・12月4日(水) 次年度入学生の確定。
	4. 質問・意見事項
学改調課	<ul style="list-style-type: none"> ・阪神バスに対して運行に関する問い合わせをしており、一定の回答は得ている。今後も継続的に協議をしていきたい。 ・義務教育学校に魅力は感じながらも現在の学校を離れることについて悩んでいる保護者は多い。今後は学校の魅力を高めていくことが大切になってくるだろう。 ・バスについては直行便もそうだが、西宮浜内での逆回り便の運行ということも含めながら協議を続けていく。
T副委員長	Q. 育成センターや放課後の居場所事業について質問は出ていないか。
学改推課	A. 保護者からの希望は高い。
育センター課	A. 受け入れる体制である。
放事課	A. 今後いい形で導入したいと考えている。
放事課	Q. 西宮浜にあるURへの働きかけはしているのか。これから転居者が増える時期になる。URに西宮浜での義務教育学校をアピールしてもらうことで児童生徒の獲得につながらないか。
事務局	A. 義務教育学校をアピールしたいとUR阪神住まいセンター側は考えてくれている。
T副委員長	A. 我々もURへ行って地域との連携に協力を依頼した。
学改調課	<ul style="list-style-type: none"> ・西宮浜義務教育学校関係の実施計画について。図書館関係、総合教育センター分室関係、義務教育学校関係の大きく3点計上している。
S副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・義務教育学校でICTを用いた効果的な学習に関して研究を進めていくことも総合教育センター付属校としての役割である。
T副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館関係については、図書館と学校とでしっかりと話をしていくよう、改めてお

委員長	<p>願います。</p> <p>Q. 審議会、懇話会等で義務教育学校が話題になったことはないか。もしあれば、こうした場で情報を提供してもらいたい。</p> <p>A. 模擬議会では西宮浜義務教育学校に関する話題もでた。市民の声では義務教育学校に関する問い合わせもきている。様々なところで関心の高さを感じる。</p>
S副委員長	5. 閉会あいさつ